

授業概要

科目名		障害評価学			授業の種類	講義/演習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科1年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
患者独自の問題を導き出し、患者の障害を正確に評価する能力は、義肢装具士にとって不可欠な技術であると考え、患者を綿密に評価することが、より適切な義肢・装具の提供に繋がることを理解する。また、義肢装具士にとってチーム医療の一員として働く上で、必要と思われる知識を修得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
e-learningを併用する。Web上のマテリアルで予習をすませて授業に参加することを条件とする。 授業では、チュートリアル方式や実技を中心に進める。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
問診について必要な事項を抽出できる。正確な姿勢・歩行観察を行う事ができる。 正確にROMの測定やMMTを行う事ができる。正確な神経学的検査を行う事ができる。									
回数	講義内容								
1	評価学概論・主観的評価と客観的評価								
2	評価学概論・主観的評価と客観的評価								
3	クリアランステスト								
4	クリアランステスト								
5	姿勢								
6	姿勢								
7	歩行								
8	歩行								
9	MMTとROMの評価								
10	MMTとROMの評価								
11	神経学的評価								
12	神経学的評価								
13	復習								
14	足関節								
15	足関節								
16	膝関節								
17	膝関節								
18	股関節								
19	股関節								
20	肩関節・肘関節								
21	肩関節・肘関節								
22	手関節								
23	手関節								
	復習								

2021 年度

授業概要

科目名		障害評価学			授業の種類	講義/演習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科1年	後期	必修・選択	必修

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
配布資料		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験（中間試験・終講試験・実技試験）により認定する。
